

30. つづら棚田を守る会

棚田名	つづら棚田
所在地	福岡県うきは市浮羽町新川葛箆集落（集落戸数5戸）
百選等の認可	棚田百選
棚田の概要	傾斜不明、約6ha、約300枚（放棄地一部あり）
保全団体	つづら棚田を守る会
設立年	2006年（平成18年）
沿革	葛箆集落の耕作者が営農継続困難になり、市役所へ相談、市役所が新川地区有志4-5人へ呼びかけ、15人で発足、現在は1.1haを47人のメンバーで管理
代表者	堤寿夫
問い合わせ先	うきは市役所 農林観光課 観光・山村振興係 〒839-1393 福岡県うきは市吉井町新治316
会員	葛箆集落を含む新川地区から約9割、新川地区以外の市内外から1割
主要メンバー	堤さん、米川さん、酒屋のご主人
拠点施設等	「角打ち」の出来る地元の酒屋さん（作業後の懇親会会場）
ポリシー 又は 活動の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポリシー：作業については無理をしない、水管理は地元、平日は年配者、休日は若者中心、など役割分担をしながら作業、世代を越えた「ノミネーション」を大事に。 ◆活動の方向性（将来展望）：つづら棚田については九州大学との連携による宿泊・研修施設の整備により外部との交流、オーナー制度のステップアップを計画。その延長にIターン者を期待。他方「守る会」の存在により、つづら棚田だけでなく、新川地区全体の活性化が徐々に進みつつある。
活動状況	
運営資金	市からの助成金（合併の際に積んだ山間部振興のための基金から）、畦塗り作業の受託料
広報ツール	特になし
協力者	〈行政〉市役所農林・観光課、〈企業〉アストラゼネカ
市民交流制度（オーナー制度など）	<p>オーナー制度：1997年から活動、2010年現在103組、3.7万円/口、30kg+農産物等</p> <p>トラスト制度：なし</p> <p>民泊の受け入れ：特になし</p>
棚田米販売	生産した米は、道の駅へ出荷（委託販売）
特産品開発	特になし
直売所	特になし
定期的イベント	守る会主催では特になし（地域内各種イベントには積極的に協力）
地域の状況	
直接支払の状況	葛箆集落として協定締結、「守る会」「保全協議会」とは直接の関係なし
地域おこしグループ等	<p>「棚田inうきは彼岸花めぐり実行委員会」</p> <p>「つづら棚田保全協議会」</p>
後継者対策	特になし
I・U・J・Oターン	米川さんはじめ数人（ただし守る会の活動が契機になったものはない）
ボランティア受入	メンバー募集は口コミ中心で、特に外部に対し募集は行っていない
行政の支援	資金面での助成（機械導入、日当、研修、イベント開催等）、職員も構成員に
備考	第6回棚田サミット開催（棚田新世紀（棚ルネッサンス）～小さな棚田・大きな役割～）